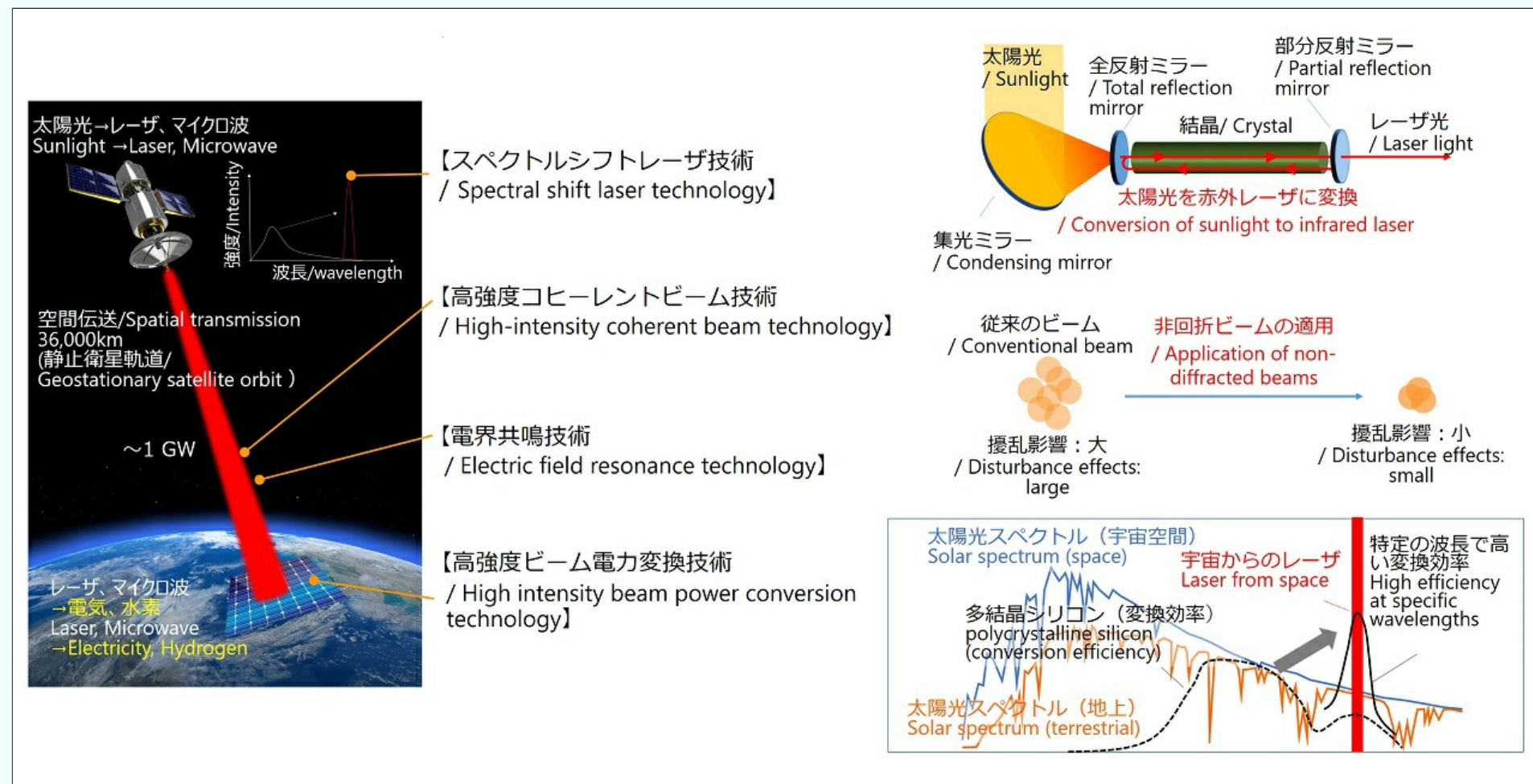




太陽のエネルギーを安定して利用することが可能になります

概要

地上上空3万6000kmの静止衛星軌道上に巨大な集光装置を設置し、太陽エネルギーをレーザやマイクロ波に変換して、そのエネルギーを地上に設置した受信装置でまで送り届け、地上で電力などのエネルギーに変換し利用するという技術です。



特徴

- 太陽光を結晶に照射し、直接レーザを励起
- 非回折ビームの適用により、大気擾乱の影響を緩和

利用シーン

- 地上の天候に左右されず、安定的に太陽エネルギーを利用することが可能

今後の展開

- 宇宙太陽光発電に留まらず、地上におけるドローンなどのモビリティへの給電による長時間運転の実現や、避難所や離島への非常用給電技術として順次実用化していく予定です。

コラボレーションパートナー

- 国立大学法人宮崎大学、学校法人光産業創成大学院大学

出展社

日本電信電話株式会社

問い合わせ先：rdforum-nw-ml@hco.ntt.co.jp